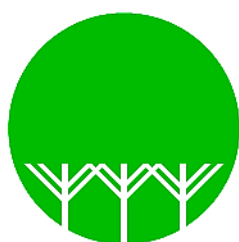


あなたの町の国有林

緑川流域における国有林野事業の取り組み



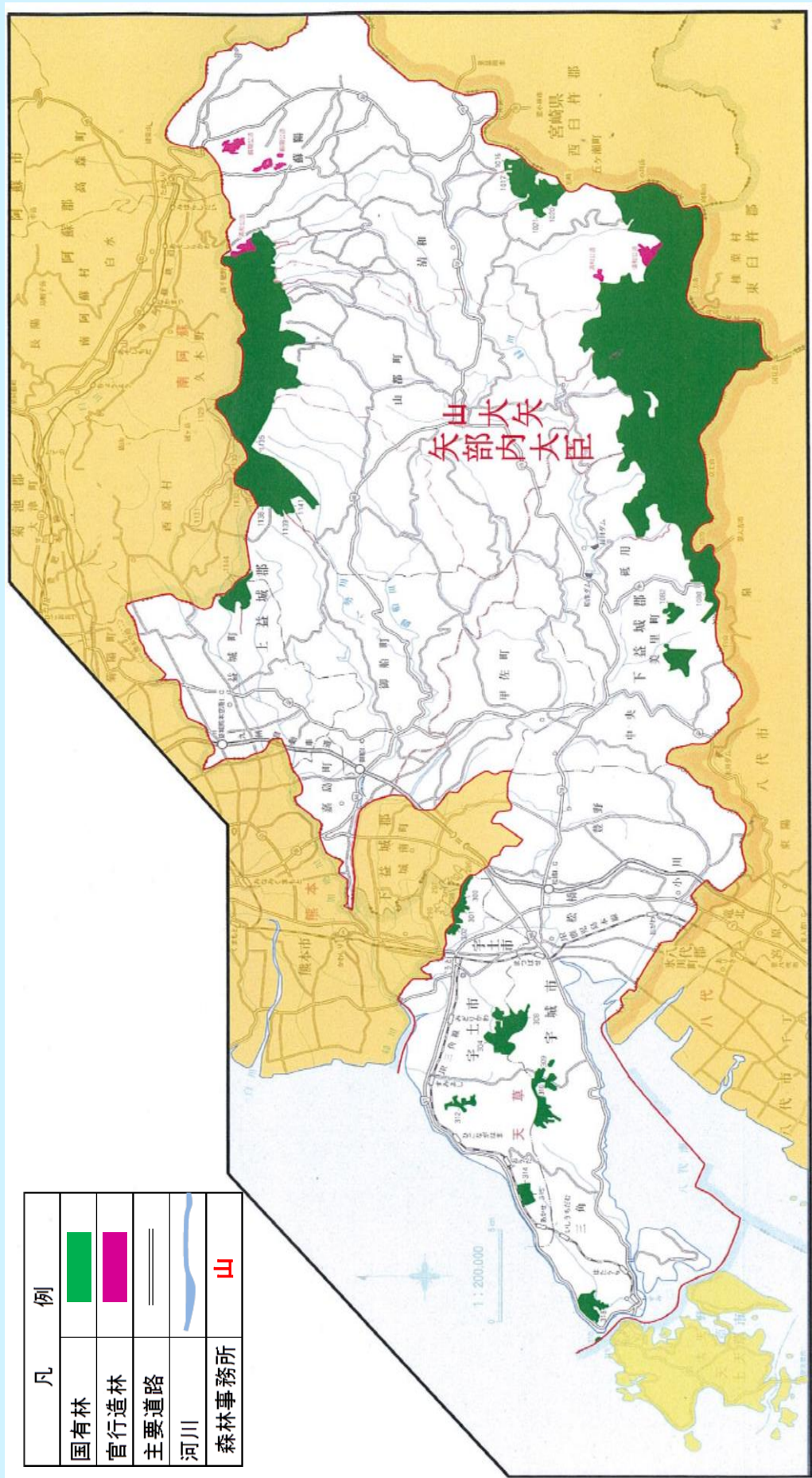
緑川ダム全景（美里町）



国民の森林・国有林

九州森林管理局
熊本森林管理署

図位置林有国の域流川緑



緑川流域の概要

I 自然的背景

ア 流域の位置及び面積

本流域は、熊本県のほぼ中央部を東西に横断する形で位置しており、東は宮崎県と接し、西は有明海に面しています。緑川の流域2市6町からなり、その面積は119,084haで熊本県面積740,479haの約16%を占めています。また、本流域の国有林は2市4町に所在しており、その面積は13,581haとなっています。

イ 地 勢

本流域の地形は、宮崎県境の国見岳（1,739m）等を有する九州脊梁山地に接する上流部の一部で起伏が大きく、急峻な地形が見られますが、ほとんどの地域は丘陵、平野の地形が広がっています。

宇城地域は、緑川下流域にあたり、緑川上流からの堆積物によって三角州が形づくられ、また、不知火海に面した地域では干拓によって造成された平野が広がっています。

上益城地域は、東部では山岳地形が見られるものの傾斜は緩やかであり、西部ではなだらかな丘陵性の台地が広がっています。

ウ 気 候

本流域の気候は全般的に温暖であり、年平均気温は16～17℃で、年間降水量は1,800～2,300mmとなっています。

（気温、降水量ともに2003～2012年10年間の平均値）

Ⅱ 社会的経済的背景

ア 土地利用及び人口

本流域の森林面積は68,448haで総面積の約57%にあたり、流域の対象とする国有林面積は13,581haで森林面積の約20%を占めています。

流域の人口は約196千人であり、県全体の11%を占めています。これを人口密度で見ると160人/km²であり、県全体の244/km²と比較すると人口の集中度は低い地域となっています。

イ 交通

本流域の交通網の状況としては、幹線としてJR九州新幹線、JR鹿児島本線及び国道3号線が平野部を南北に縦貫しています。また、九州自動車道が熊本市から八代方面へ延びており、これらの幹線から分岐して国道218号、445号、57号線が東西に延び、これらの道路と縦横に連絡する国道、県道、市町村道の整備が進められています。

ウ 産業の概要

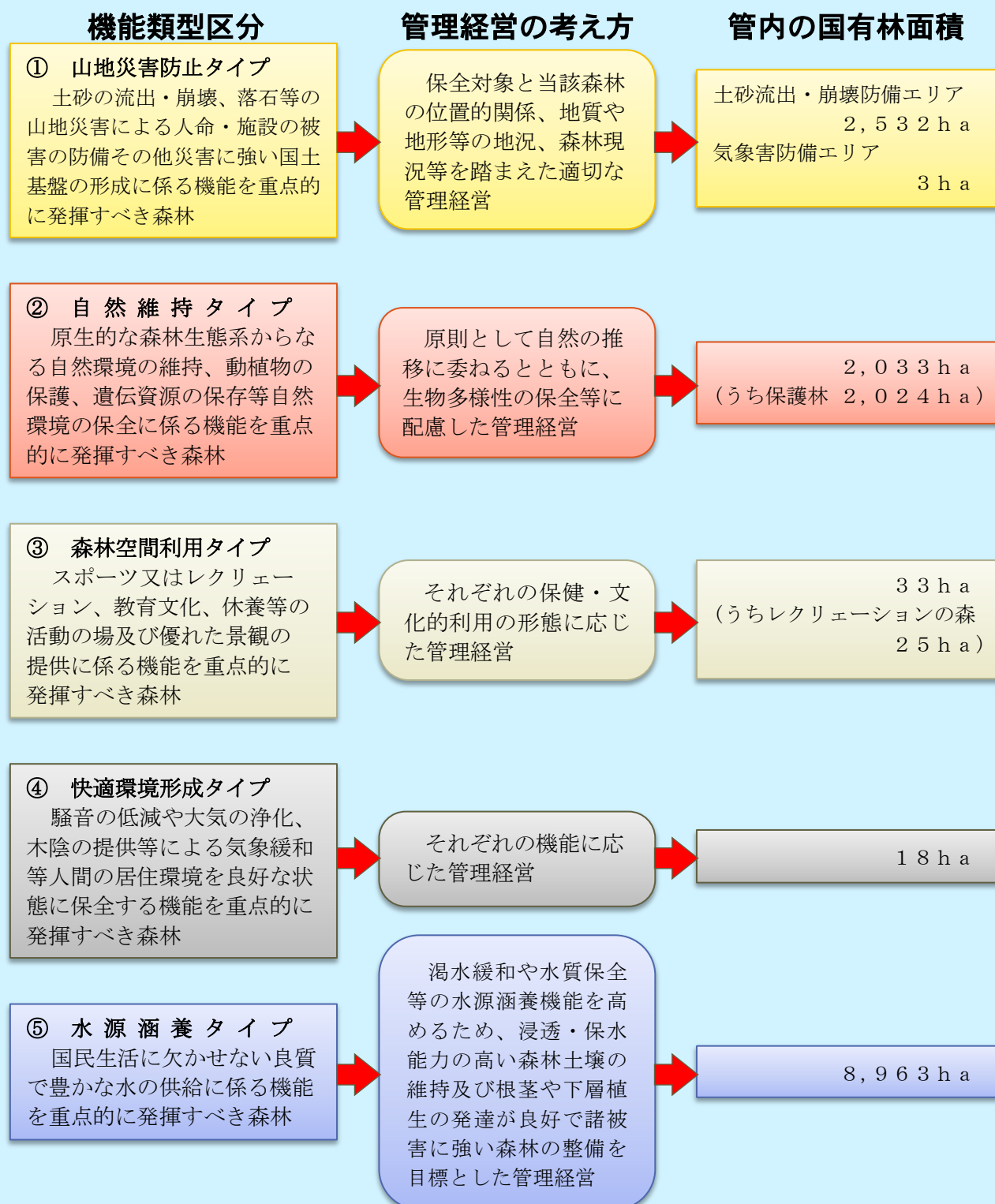
本流域における平成22年度の総生産額は6,026億円で、産業活動は宇土市、宇城市の都市部を中心に活発になっています。産業別構成比は、第1次産業が4.1%（246億円）第2次産業が31.2%（1,883億円）、第3次産業が64.7%（3,897億円）となっており、第1次産業に占める林業の割合は5.7%（14億円）です。

Ⅲ 国有林の管理経営

本流域の国有林は、熊本森林管理署で機能類型に応じた管理経営を行っており、公益的機能の維持増進に重点を置き、開かれた「国民の森林」の実現に向けた取組を行っています。

機能類型に応じた管理経営

国土の保全や水源の涵養、環境の保全などの公益的機能の維持増進を重視した管理経営をより一層推進しています。このため、一つひとつの森林を重点的に発揮させる機能によって、①山地災害防止タイプ、②自然維持タイプ、③森林空間利用タイプ、④快適環境形成タイプ、⑤水源かん養タイプの5つに類型化した上で適切な管理経営に努めています。



宇土市

宇土市の国有林

宇土市は、熊本県のほぼ中央部、熊本平野の南縁で有明海と八代海（不知火海）を二分する宇土半島の基部に位置しており、半島のほぼ北半分を占め、総面積（7,420ha）の38%（2,852ha）が森林です。そのうちの15%（426ha）が国有林野で、その64%を水源涵養タイプに、24%を山地災害防止タイプに区分し公益重視の管理経営を行っています。

また、雁回山を、レクリエーションの森（風景林：木原山）に設定し、県民のいきいきの森として親しまれています。



森林整備（除伐）
（丸山国有林 307 林班）



森林整備（間伐：活用型）
（萩迫国有林 310 林班）

宇城市

宇城市の国有林

宇城市は、熊本県のほぼ中央部に位置しており、宇土半島の西側、南側および八代海北側沿岸から内陸部を占め、総面積(18,858ha)の32%(5,973ha)が森林です。国有林野はそのうちの6%(338ha)とわずかですが、その74%を水源涵養タイプに、25%を山地災害防止タイプに区分し公益重視の管理経営を行っています。

また、島原湾には、中神島(国有林：無人島)が浮かんでいます。



三角地区



不知火地区



島原湾に浮かぶ中神島(国有林)



大矢野町から見た三角岳(国有林)

御船町

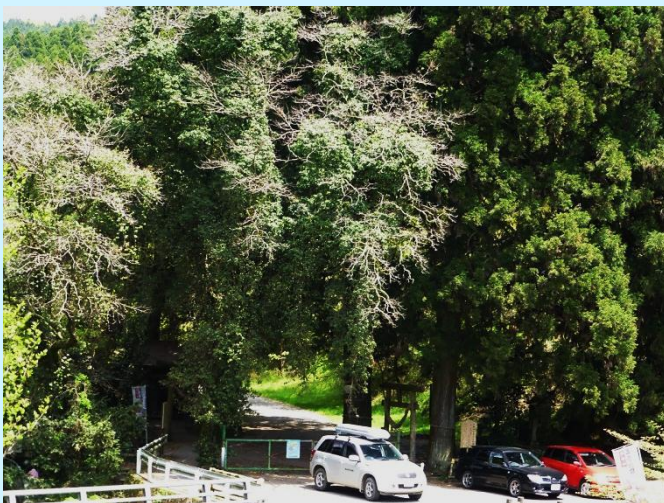
御船町の国有林

御船町は、熊本県のほぼ中央からやや北寄りに位置しており、熊本市南東部、嘉島町、益城町、西原村、山都町、美里町、甲佐町の7市町村と隣接し、総面積(9,900ha)の56%(5,558ha)が森林です。国有林野はそのうちの7%(411ha)とわずかですが、その97%を水源涵養タイプに区分し公益重視の管理経営を行っています。

また、吉無田国有林では、旧藩時代植栽のスギ老齢林を植物群落保護林に設定し適切に管理しています。



森林整備（間伐：活用型）
（吉無田国有林 1136 林班）



植物群落保護林
吉無田国有林 水源



森林整備（間伐：活用型）
（吉無田国有林 1132 林班）

益城町

益城町の国有林

益城町は、熊本県のほぼ中央からやや北寄りに位置しており、熊本市東部、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町の5市町村に隣接し、総面積(6,567ha)の30%(1,977ha)が森林です。国有林野はそのうちの8%(164ha)とわずかですが、その全てを水源涵養タイプに区分し公益重視の管理経営を行っています。

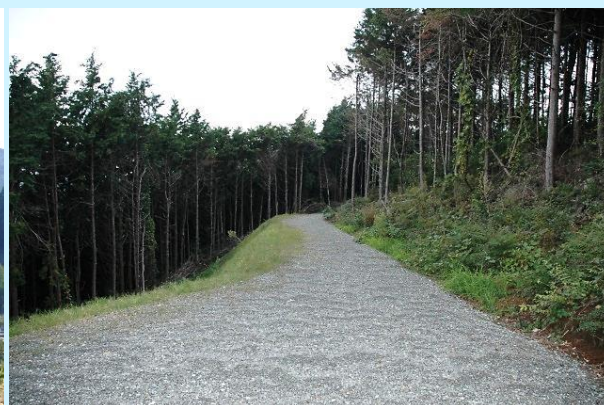
また、金山川沿いの広葉樹林については、生物多様性保全機能の維持増進を図ることを目的に、溪畔保全プロジェクト林として、その保全を図っています。



森林整備 (間伐: 存置型)
(城山国有林 1145 林班)



城山国有林 遠景



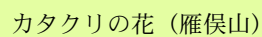
林業専用道
(城山国有林 1145 林班)

美里町の国有林

また、雁侯山周辺の国有林は、冷温帯林の代表的林相を保存するため植物群落保護林を設定するとともに、七郎次国有林では地滑り箇所が見られることから、下流域の安全・安心の確保のための対策工事を実施しています。



森林整備（間伐：活用型）
（三十五国有林 1075 林班）



林業専用道新設
(七郎次国有林 1080 林班)

治山工事（地滑り箇所）
（七郎次国有林）

山都町

山都町の国有林

国有林 
森林事務所 



山都町は、九州の中央部、熊本県東部に位置しており、阿蘇の外輪山から九州中央山地までを町域とし宮崎県と接しています。総面積(54,483ha)は県内自治体で3番目であり、その72%(39,111ha)が森林です。そのうちの26%(10,305ha)が国有林野で、その64%を水源涵養タイプに、19%を自然維持タイプ、17%を山地災害防止タイプに区分し公益重視の管理経営を行っています。

また、脊梁部一帯は、九州中央山地森林生物遺伝資源保存林として、さらに内大臣川周辺には植物群落保護林や特定動物生息地保護林を設定し、生物遺伝資源の保存、暖帯性上位植生の代表的林相の保護、希少野生動植物種の保全を行っています。



小松神社の御神木
(スギ：樹高 30m、幹回り 496cm
推定樹齢 500 年以上)



内大臣植物群落保護林(管内大臣国有林 1043 林班)
(マツ、モミ、ツガ、アカシ、ブナ、クリ、カデ等の
暖帯性上位植生の代表的林相の保存)



ゴイシツバメシジミ
(環境省レッドリスト、絶滅危惧 I A 類)



森林生物遺伝資源保存林 向坂山周辺
(まとめて分布する太平洋ブナ林)
(大官山国有林 1025 林班)



高性能林業機械による森林整備（間伐：活用型）
(吉無田国有林 1150 林班)



森林整備（間伐：活用型）
(上大矢国有林 1149 林班)



第 60 回 愛林駅伝
(森林とつながりの深い伝統ある行事)

緑川流域の国有林データ

①機能類型別林地面積

単位：h a

機能類型 市町村	山地災害防止タイプ		快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	計	官行造林
	土砂流出崩壊 防備エリア	気象害防備 エリア						
宇土市	103.20		17.55	273.97		31.18	425.90	
宇城市	85.70	2.69		248.69		0.59	337.67	
美里町	543.90			1,322.42	71.05		1,937.37	
御船町				399.67	11.62		411.29	
益城町				163.81			163.81	
山都町	1,799.32			6,554.20	1,949.97	1.57	10,305.06	250.55
計	2,532.12	2.69	17.55	8,962.76	2,032.64	33.34	13,581.10	250.55

②保護林の名称及び位置

単位：h a

種 類	名 称	面 積	位 置	特 徴 等
森林生物遺伝資源保存林	九州中央山地	1,809.90	山都町 美里町	当地域には太平洋ブナ林がある程度まとまりをもって分布するとともに、一部に湿性立地に発達するブナ林が見られ、また、希少な野生生物が生息・生育している等の優良で特異な自然が残存。このため、これらの生物遺伝子源を自然生態系内に広範囲に保存するため設定。
植物群落保護林	吉無田	11.62	御船町	旧藩時代植栽のスギ老齢林の植物学的考証
	内大臣	34.56	山都町	暖帯性上位植生の代表的林相の保存
	雁俣山	70.30	美里町	冷温帯林の代表的林相の保存
特定動物生息地保護林	内大臣	97.16	山都町	国内希少野生動植物種ゴイシツバメシジミの生息地

③レクリエーションの森の名称及び位置

単位：h a

種 類	名 称	面 積	位 置	選 定 理 由
野外スポーツ地域	向坂山	0.49	山都町	ブナを主体とした天然林であり、四季折々の自然美を持っている。また、冬季は積雪が多く、スキー場として利用者が増大している。
風景林	木原山	24.33	宇土市	熊本市と八代市の中間に位置し、優れた眺望に恵まれており、散策等の大衆的な利用がなされている。

署等の所在地

森林管理署 及び森林事務所	郵便番号	所 在 地	電 話	F A X
熊 本 森 林 管 理 署	861-1331	菊池市隈府 9 0 7	0968-25-2101	0968-25-2104
矢部内大臣森林事務所	861-3516	上益城郡山都町千滝 2 7 - 1	0967-72-0395	0967-72-1157
大 矢 森 林 事 務 所		同 上	0967-72-0725	同 上
南 阿 蘇 森 林 事 務 所	869-1411	阿蘇郡南阿蘇村大字河陰 1 3 8 - 2	0967-67-0069	同 左
天 草 森 林 事 務 所	863-0042	天草市瀬戸町 5 0 - 6	※当面の間、矢部内大臣森林事務所 で事務を取り扱う。	

熊 本 森 林 管 理 署 庁 舎



地域とともに 森林・林業再生への貢献



内大臣橋（山都町）
（長さ 199m ・ 高さ 88m）

九州森林管理局 〒860-0081 熊本市西区京町本丁 2-7

TEL 096-328-3500

熊本森林管理署 〒861-1331 熊本県菊池市隈府 907

TEL 0968-25-2101

FAX 0968-25-2104

熊本森林管理署ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kumamoto/>

九州森林管理局ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>